

まほろばの風



校長便り 第4号
令和 8 年 9 月 4 日
宮古島市立鏡原小学校
校長 名城 歩

処暑の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

夏休み明け、久しぶりにお友達や先生に会うことができ、子どもたちの笑顔が学校中に溢れています。中には久しぶりの登校で少し戸惑い、玄関先で立ち止まる子もいましたが、何とか教室に入り、2学期を迎えることができました。始業式の校長講話では、「行事が多い2学期は、学級の人々と協力し、苦手なことにもチャレンジして頑張ってもらいたい。気持ちの良い元気なあいさつを心がけてほしい」とお話しさせていただきました。運動会や持久走大会、農業体験、各学年の行事等、多くの行事が予定されています。特に運動会や持久走大会は体力が大切です。早寝・早起き・朝ご飯をしっかり守り、登校させて頂きたいと思います。保護者の皆様のご理解・ご協力、宜しくお願い申し上げます。

鏡原クイチャー創作について



宮古島の伝統行事になりつつあるクイチャーフェスティバルは人頭税廃止 100 年を記念し平成 14 年（2002 年）に始まり今年（2026 年）25 年を迎えるそうです。

その、記念すべき大会に実行委員会より鏡原小学校の参加のお誘いがあり、校内で検討・協議し、5 年生が参加することになりました。

鏡原とクイチャーの歴史的なつながりとしては、1893 年、宮古農民代表 4 人が明治政府や国会に人頭税廃止請願のために上京し、翌年 1894 年に宮古島に帰島した際に、出迎えに宮古中から集まった人々は熱狂的に歓迎し、漲水の浜から鏡原の馬場まで、クイチャーを踊りお祝いしたと伝えられています。その後、1902 年に人頭税が廃止され今年で 125 年となります。その記念として鏡原馬場のあった地区の小学校である本校へ、参加のお誘いがあったわけです。

クイチャーフェスティバル実行委員会で鏡原小の保護者でもある与儀昌樹さんが鏡原馬場歌（カガンバリンマバアーク）を早引きで編曲し、宮古島民謡の歌者、与那城美和さんの振り付け、そして鏡原小 5 年生代表の子どもたちのかけ声をのせた鏡原クイチャーの音源ができあがる予定です。10 月 4 日に開催予定の運動会ではプログラムの最後に全校生徒でのクイチャーをお披露目予定です。楽しみしていて下さい。

保護者の皆様へ（協力願い）



現在、児童の登下校時間帯において、正門前の駐停車禁止区域や学校周辺の横断歩道付近での一時駐停車が多く見受けられます。停車中の車両が死角となり、横断歩道を渡る児童や対向車からお互いの姿が見えなくなります。児童が安全・安心に登下校できるよう、正門前・横断歩道付近での送迎に伴う駐停車は固くご遠慮いただきますようお願いいたします。

放課後子ども教室より（お知らせ）

○利用児童募集

2 学期から利用する児童を若干名募集できます。（学校までご相談下さい。）

○子ども教室のお迎え時間について

16:30 迄にお迎えをお願いします。

